

円グラフと帯グラフ

円グラフと帯グラフ。よく似ているけれど、ちがいがあある。

円グラフ

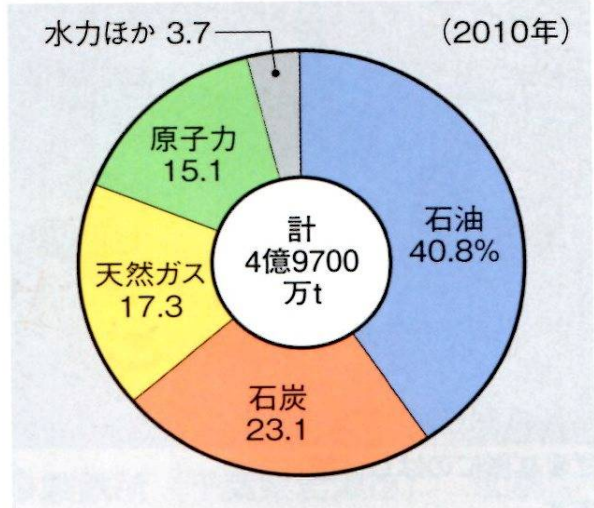
各部分の全体に対する割合を表す。

各部分ごとの現状を示すのに適している。

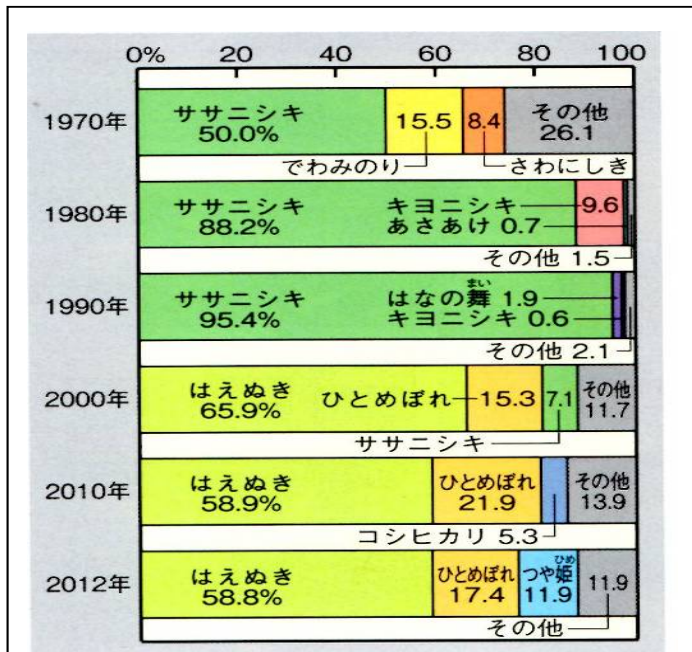
円の大きさを総合計を表している。

単独で使うことが多い。

量の比較



日本で使われているエネルギーの内わけ (2013年刊 日本国勢図会)



庄内平野のおもないねの品種別作付面積のわりあいのうつり変わり (2013年 山形県庁調べ)

帯グラフ

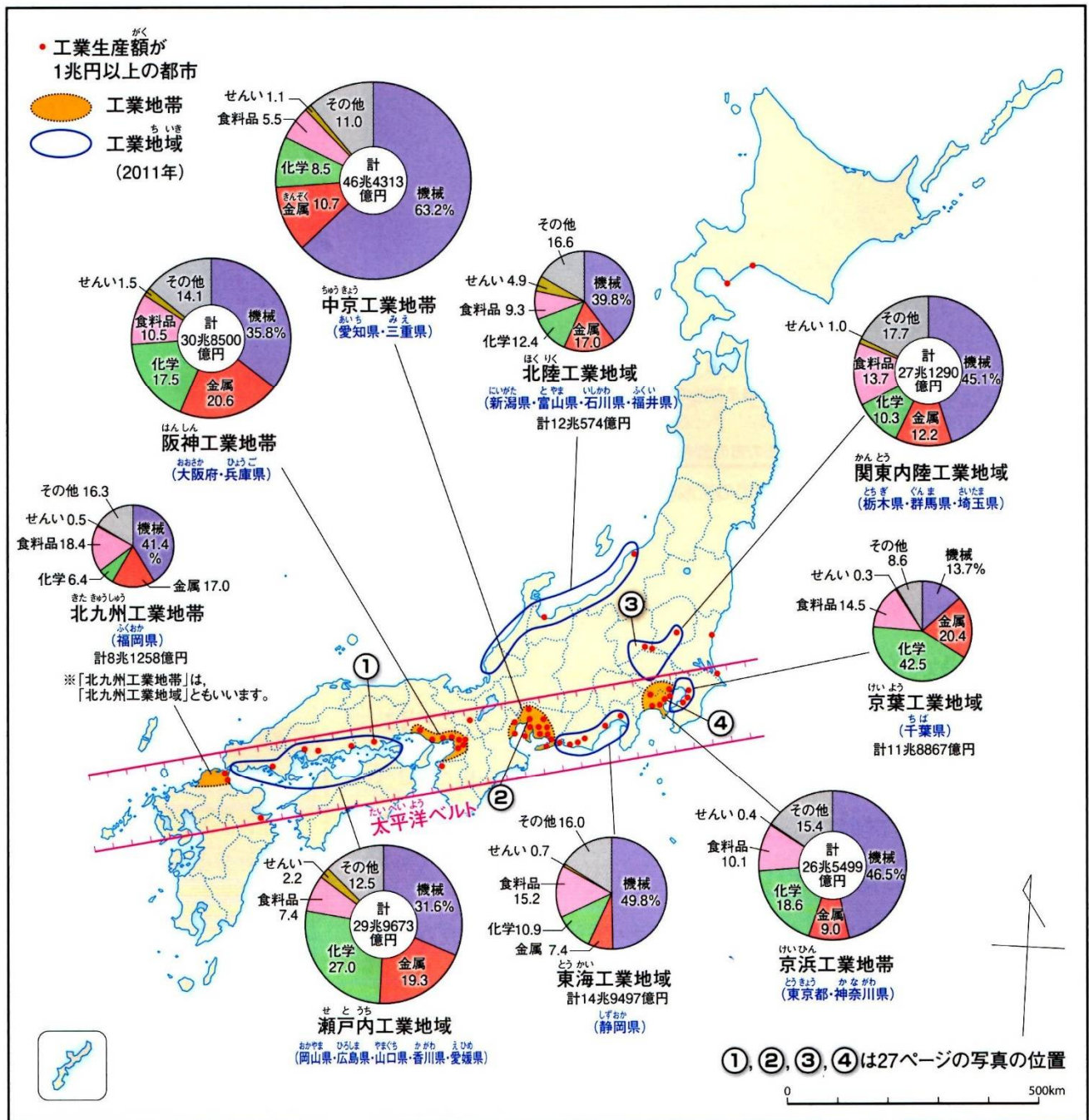
各部分の全体に対する割合を表す。

各部分間の比較をする場合に適している。

割合の比較

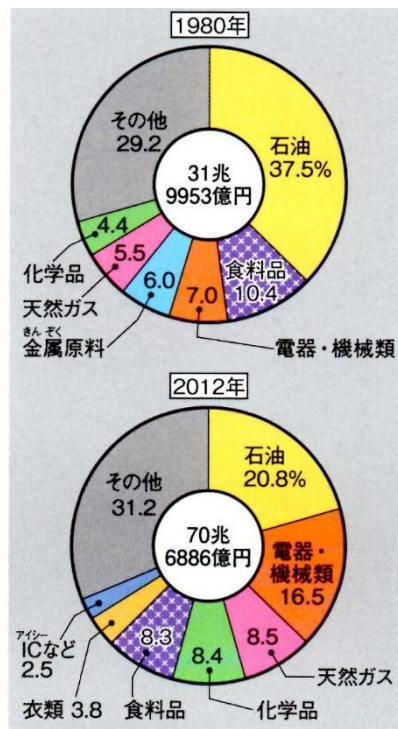
円の大きさを生産額を表している円グラフ

※ある程度比較ができる。



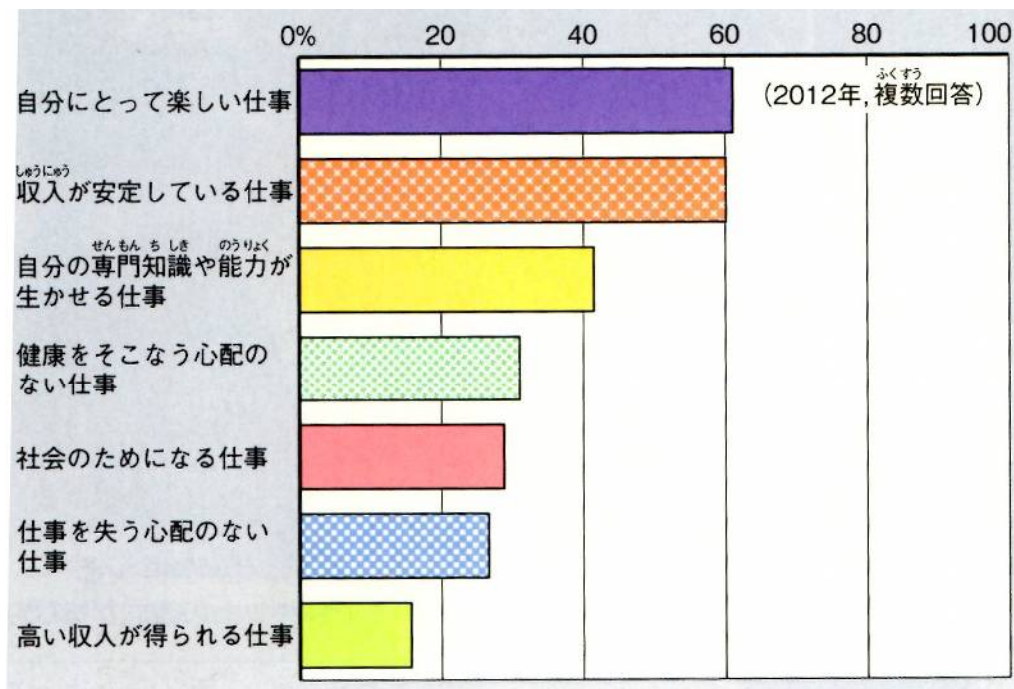
工業のさかんなところと各工業地帯・工業地域の工業生産額 (2013年 工業統計調査)

輸入額が2倍以上ちがうが、同じ大きさの円でかいている。
 帯グラフにかいた方が、適していると考えられる。



日本の輸入品の内わけと変化
 (2013年 財務省調べ)

割合のグラフではあるが、帯グラフではない。



理想的な仕事 (2013年 内閣府調べ)